

爽やかな風を感じて

8月25日、カヌー体験研修会が瑞穂ダムで開催されました。

当日は、町内外から集まった74名がカヌーを体験。

スタッフからカヌーへの乗り方やパドルの使い方をお教えし、早速ダムへ。

気持ち良さそうにダム内を行ったり来たり。水上では笑い声や歓声が絶えず、凄く楽しそうな様子が伺えました。

体験を終えた参加者に感想を聞くと「水の上は気持ち良かった。また体験したいな。」と笑顔で話してくれました。



地デジ限定が登場

雪だるま特別住民票

8月8日から30日まで安平町の特別住民として登録されている雪だるまの「特別住民票」が交付されました。

今年、地上デジタル放送限定の住民票が登場。

最初に交付を受けた札幌市の方は「地デジ限定の住民票が可愛い。今まで発行された住民票を全て持っているから今後も集めていきたい。」と話してくれました。

初日の36枚を皮切りに、合計83枚の交付となりました。来年はどんなデザインになるのかな・・・



募金は子どもたちの活躍に

8月27日、安平町誘致企業会は、第21回チャリティゴルフ大会を開催。総勢139名がハイスコアを狙いました。

表彰式に先立ち、同会が取り組む地域の発展や振興活動の助成事業として、追分スキー少年団と早来フェリーレフトボールクラブに「がんばったDe賞」の贈呈式が行われ、両団体の代表は、「厚意が無駄にならぬよう、子どもたちの育成に有効活用させていただきます」と感謝の気持ちを伝えていました。



ふれあい体験記 ～NPO法人ココ・カラ編～

内藤圭子さんが代表を務めるNPO法人ココ・カラの取材で活動の拠点となっている安平町農産物加工研究センターにお邪魔してきました。

加工センターには様々な調理器具が。話を聞くと設備は充実しているとのこと。そんな場所で、おいしい講習会や冬になると自家製味噌などを作っているそうです。「手作りは添加物が入らないため安心安全」とのこと。皆さんは「食」についてどういったことを考えていますか？私は改めて食について考えるきっかけになりました。

この様に食を通して「地元や地元食材に興味・関心を持つ機会を提供したい」という思いで活動されているのがココ・カラなのです。

更には「食で地域活性」も考えており、手作り豆腐を作った時に出たおからをパンズ・ハンバーガーに用いたココ・カラバーガーを開発。「町を知って貰うきっかけの1つになれば」と話してくれました。

これからも食を通して安平町を盛り上げていく活動を応援しています！



今回の取材を通して「食への関心」がより一層高まりました。

そんなこともあり、9月8日に開催されるおいしい講習会に参加してみようと思います！今回はパンを作るそう。どんなパンが作れるのか楽しみです♪